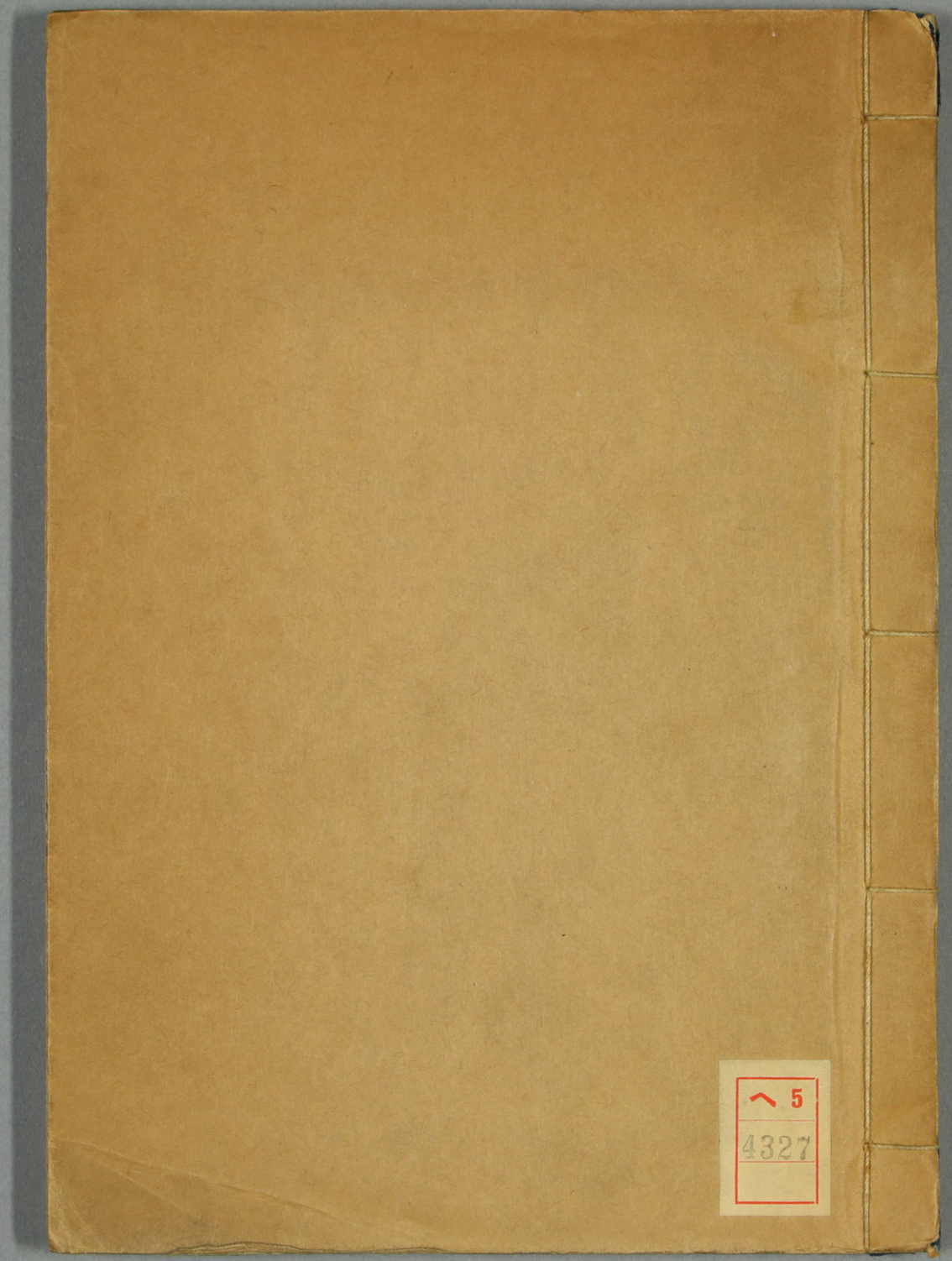


へ 5
4327

誂詣之大意

再撰貞享弐

拾遺十箇條

東花弐

安政四丁巳歳
菊月改　菊水舎藏

弐

聽雨窓

2327

○誂諧之大意
○再撰貞享式
○拾遺十箇條
○東花式

目錄

島田藏書

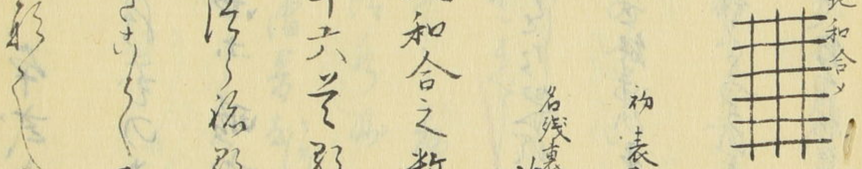
貞享之誹諧

門へ5
4327
巻

○東京市
○谷豊十郎殿
○宮城県庁内
○鹿児島市

誹諧之大意

一祖師長頭磨　貞徳滑稽の中より肝を抜き或時野々口
立圃ふたゝび誹諧せいうるものなり
俳諧おもおもしくなりんいうまでもなく
書くたとひ（おゝそれ）
器物ふるくいみじ
ある事あり
こんもやうの句
蛇二寸をもつて



地ノ陰数六坎水
天ノ陽数三離火

三六陰之十八神道
三六陽之十八神道

西儀合二十六是天地和合之数和歌八人丸ゟ忠峯ゟ（くだりこ）
陰陽乃左右を分二十六ニ而已の名ゟ
連誹准之二十六句法ゟ名乗仙ゟ詠是別天地和合同気
ゟ而ゟ発句あゟ句ゟ主ゟ

柳天地開ゟ一ゟ水ゟ生ニテ地六ツト成是唯一神道
数乃始ゟ

連句数容陽

あげ句 [illegible] 本式

本式の清書に前書のあるものの詞と行成名

百韻 五十韻 四十四本 略式の数あり

以上

句順

起 気 季

承 正 祥

転 変 天

合 四句目

発句 其時を知らせたる事を用ひ一句やうやすく

脇 発句を能ひ事をたゝへてよし 但時候正面よりいふ

第三 脇につゞきたゝけたらく発句の位を失ふべし

挙句 脇にかへりたらく発句の位を失ふべし

挙句 脇にかへりたらく発句の位を失ふべし

一順世三四句の習ひ

伝之世三 小留 [illegible]

[illegible] 天神地祇と云伝之留らん留

[illegible] 留より留まるくと

[illegible] 留らん留

[illegible] 留まぐ

[illegible] のてとゝぶあり

[illegible] 留まぐ

[illegible] 一の却

[illegible] 一の却

[illegible] 一の却

寒氣附

引句

口変

可秋

三世共

現在

未来

過去

引句

秋風の松の枝

秋風や松の枝

秋風や松の枝

秋風や

口授

現生　鬼魂統　未来　過去　各自

以上

口授

上の自法の當　上の自つ當生命の
上来何のまゝ

法をもつて我家我物の
義務うをもつて

なり

又或信ある云　雲に鳴りつて

師の面傳　可也　不可也

口授

古跡　大秘極

以上

杉本自法の

以上

昔秋昔春之辨

花ありて昔春或は昔秋ありて昔秋昔春

和歌は唯一九神ありて祝賀の

昔は今俳諧ありて祝賀の

俳は陰ありて今俳祝賀の

燁ふ月日の映を以て鳴る

け加ふ月を添る支祝賀の

地球

但神去の月交て

口交

昔秋昔春之辨

花ありて昔春或は昔秋ありて昔秋昔春

和歌は唯一九神ありて祝賀の

昔は今俳諧ありて祝賀の

俳は陰ありて今俳祝賀の

燁ふ月日の映を以て鳴る

け加ふ月を添る支祝賀の

花ハ陽祝　　月ハ陰欠

以上

花ハ桜　陰ハ

或家伝云

是ハ桜ニ

正花ハ桜ナリ　口決

花ハ桜ナリ　和訓ニハ桜ヲ花ト訓ス

伝ニ云　桜ト一本ヲ栄ル桜ヲ一本ト云

正花ト云桜ト有ヲ以テ一本ト云ハ山ノ桜ヲ

加ヘテ白根ノ桜ヲ四ツ植ヲ又一本ト云ヘリ

磯ノ桜ヲ折ヲヒヤリテ是ヲ

引句

桜ハ春ノ花ナレハ

実桜ノ桜咲ヤ古ノ

又云　花衣

花姓

如何ナル物ヤ初ノ

毛ノ桜ヲ根ヲ

引句

重桜ナル故ニ

菊ヲ桜ト折ル

出日ハ桜ノ花ノ

以上

五義

篇序題曲流

篇ハ如何ナル名ヲ有スル体

序ハ中途ヨリ始ムル体

題ハ如何ナルモノヲ云フ体

曲ハ如何ナル類ヲ云フ体

流ハ事実ヲ主トスル体

可怪可愧

篇序題曲流

篇ハ大ナル体 曲流ハ小ニシテ多ク有ル体

序ハ篇ニ基キ篇ヲ序ス 序ハ自然ノ勢 亦曲流ニ基キ曲流ヲ序ス

題ハ如何ナルモノヲ云フ 曲ハ如何ナル類ヲ云フ

流ハ事実ヲ主トスル体

篇序題曲流

篇ハ大ナル体 曲流ハ小ニシテ多ク有ル体

序ハ篇ニ基キ篇ヲ序ス 序ハ自然ノ勢 亦曲流ニ基キ曲流ヲ序ス

題ハ如何ナルモノヲ云フ 曲ハ如何ナル類ヲ云フ

流ハ事実ヲ主トスル体

篇序題曲流

篇ハ大ナル体 曲流ハ小ニシテ多ク有ル体

序ハ篇ニ基キ篇ヲ序ス 序ハ自然ノ勢 亦曲流ニ基キ曲流ヲ序ス

題ハ如何ナルモノヲ云フ 曲ハ如何ナル類ヲ云フ

流ハ事実ヲ主トスル体

篇序題曲流

篇ハ大ナル体 曲流ハ小ニシテ多ク有ル体

序ハ篇ニ基キ篇ヲ序ス 序ハ自然ノ勢 亦曲流ニ基キ曲流ヲ序ス

題ハ如何ナルモノヲ云フ 曲ハ如何ナル類ヲ云フ

流ハ事実ヲ主トスル体

篇序題曲流

篇ハ大ナル体 曲流ハ小ニシテ多ク有ル体

序ハ篇ニ基キ篇ヲ序ス 序ハ自然ノ勢 亦曲流ニ基キ曲流ヲ序ス

題ハ如何ナルモノヲ云フ 曲ハ如何ナル類ヲ云フ

流ハ事実ヲ主トスル体

篇序題曲流

篇ハ大ナル体 曲流ハ小ニシテ多ク有ル体

序ハ篇ニ基キ篇ヲ序ス 序ハ自然ノ勢 亦曲流ニ基キ曲流ヲ序ス

題ハ如何ナルモノヲ云フ 曲ハ如何ナル類ヲ云フ

流ハ事実ヲ主トスル体

篇序題曲流

篇ハ大ナル体 曲流ハ小ニシテ多ク有ル体

序ハ篇ニ基キ篇ヲ序ス 序ハ自然ノ勢 亦曲流ニ基キ曲流ヲ序ス

題ハ如何ナルモノヲ云フ 曲ハ如何ナル類ヲ云フ

流ハ事実ヲ主トスル体

篇序題曲流

篇ハ大ナル体 曲流ハ小ニシテ多ク有ル体

序ハ篇ニ基キ篇ヲ序ス 序ハ自然ノ勢 亦曲流ニ基キ曲流ヲ序ス

題ハ如何ナルモノヲ云フ 曲ハ如何ナル類ヲ云フ

流ハ事実ヲ主トスル体

一 十九の句 鼠の句 早のぬ 眠をれ 等句体
[illegible]
一 大畑 [illegible] 三名句
三字切 三字切句 [illegible]
一 らん茵句 [illegible]
一 新句 [illegible]
一 発句一体 [illegible]
[illegible] 風 [illegible]
[illegible]

や 十体

一 中道のや
[illegible]
[illegible]

一 鼠のや
白妙の雪や [illegible]

一 梅のや
うつくしや [illegible]

一 [illegible]
[illegible]

一桜もや

一ふるさとの

一まてしや

一日人合のや

一若葉のや

一ずゐ

一古き書ふところにあり

以上

く哉

[illegible]

[illegible]

淋しさを告げ渡る雁の涙哉

むら雨

花の色は霞に籠めて見せずとも

くを知るは春の心ぞ

むさし野の草葉の露を分けわびて

袖より余る秋の夕風

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よき梅のみよき梅の匂ひ

信濃の湯は花い蒼

ゆうとおもふて

池の面に

池のほとりの柳かな

ウクスツヌフムルと

おもふ間

柳かな

網まとふ舷の

師のいふ可くして可からず

家やらん四中五文字の俤名いうまでなき

不自由を極む

口吟

篇序題曲流　可秘

以上

蒼白哉留り吏三まてまてまてま

人の多く　　之を多白と
泄叮の辞好きる事と　　芭蕉此集品有り
以上　　韵字留ト云
第三文字留

●發句　　章句ト云
○脇　　入韻
●第三　　仄字ニ

是漢和之例ニテ第三平字ニアラサルヲモ
方便ニ韻字留ト名ケラレシ歟
師のいふ第三字留平仄の差別ある

根元漢字留ともいふのこゝろなれども
天地同形のごとく上下如環

口授

五一連　季　動

服てふも第三文字留れば千句茅句乃漂来けて
形式重に生ずる

五月雨や天下とる郭公　　貞徳

可秘可悦

右條々秘蔵乃伝ともいふべき事也
改口変じ言外他見あるべからず
一の言葉も相違申候ハゝ連乃衆

延享三丙寅春

ぬの辨

引旬

以上

三世ノ現在ハヤタル　木ザル　ツダ

未来ノ　　　

口変

抑三万余年を切字の
神代より死を免れ
現在 未来 過去 無明
人天地ノ霊モノ天ノ一気歳ツテ息ナレハ也 可秘々々

上件句法
法華経我等
妙法蓮華経
或傳云 一句此四字ヲ指ス
又
妙法蓮華経ハ
師匠ノ口ヨリ
弟子ノ口ヨリ

引句

一句

以上

秀秋

口傳

一句 和歌ハ和朝の雲ゐまでも

右隆之男雅嗣流内口奏可

直言之宣旨

第二之文字留

一紙宣旨依前等奏之中

天下一若有之

也或始之事

あれと口奏を以

の宣旨頼字留とあり

頼字留とあり

是誤也准之

を免れ和訓比物語

漢字之用

本頼字仮字

平仮の字

口奏

奥徳

春の来天下に満ての部

五一連　季　動

以上

可被可被

新宅誹諧連句之事

一従前々連句ハ火防ノ
為仏式百韻一巻ヲ四大并
ニ位牌ノ前ニ備ル　ソレ
ヲ終テ　ソレヲ　精進
物ニ用ヒル　ソノ
如ク取扱フベシ　集ル
ノ
世ヲ
ヲ
ソノ
ノ
ノ

一等句尾の字の声を改め改去を換声と云

作詩の法一ヶ条ならず

一二字
一二字
一三字 一雑句

口授

一夢想内景詩歌連句俳諧句俳章句上の句下の句等
或文字一字二字三字よりいわゆる違うるの
作ごとくなるを雑句のごとくなるを雑句
考て支雑ごとくなるを支雑ごとくよく

同字を避ける事

一夢想内景詩歌連句俳諧句俳章句上の句下の句等
或文字一字二字三字よりいわゆる違うるの
作ごとくなるを雑句のごとくなるを雑句
考て支雑ごとくなるを支雑ごとくよく

一句法定まる事

一等句尾の字の声を改め改去を換声と云

作詩の法一ヶ条ならず

一二字
一二字
一三字 一雑句

口授

若たちと云我国人を閉こめ置候而
五体をまるめ候ものを見せ候のかいるの
ごとしと云ものしき類的の物有候と一人と諺

の二の方たんと世と違候をみれば一体の
上手の仕事とは見へ候へ共山中と云事四方の
本来無一物の無明のおもしろき事
なく候ゆゑ我と云ものなく忽ち人と
生ずる事を為ん事とて云事四方の物生
ずるいを当年と風雨等と云事
等のものをあつめかくのごとくねちとうるさきといふ
本のまゝにて我身勝手好の品を取り集
て順ふこと

川若狭

まゝ河骨くわの事ゆゑ葉我家の紋

再撰真享式

◎惣序

一潙仰は猶馬祖の如く臨済は猶石頭の如し其遺訓を伝て宗旨を発揚し玄門を開闡して後学を導く其流派雖多しと雖も其本源は則一なり故に其宗門の式法も亦大同小異のみ

一祖翁雖没すと雖も其遺訓は猶存す故に今其遺訓の一二を挙て以て後学を警策す

一連式を作るは古式を損益して以て一刀両断の法語あらんことを欲するなり

一此式に名乗なき詮句は總而翁の句也別人は其名を書入るべし

一古式と云は連哥の古式を指す古抄とは真徳の御傘埋木嚢草なり本式と云は今の真享式なり

◎例

○再撰真享式之序　東花坊

一俳諧は古式の論あるといへども世俗乃用物をもつて

○古今俳諧之序

一素寒の俳諧は二千葉のむかし万葉の序

一中むかし乃俳諧といふは貞徳の形式をもつて専ら

一誹諧は意を連歌の体をもつて句ごとに一字千里は遠ひとしといへども

今の俳諧の姿とは一字千里の句ごとに一字千里の意

○俳諧と誹諧と字義の変

一純門乃射手専ら風雅を学ぶべきものなり

東華云人倫の俳の字を嫌ひ誹諧と書ける事なり

○俳諧乃風体乃道行の変

一て純にてあるべきを始天道行を地におろして行ことのを

人間にいひくだしたるを地におろして行ことのを

善悪をわかつ事なり

一誹俳の実とは天地の形をうつして事柄をわかち

一誹俳の実とは天地の形をうつして風体をそなへ

法をもつて風体をそなへ

一俳諧とは五倫の和合をいふ

一俳諧といふは治国斉家の一助なり

もの誹俳の大道はいたつて

一俳諧の六義も地利を人和の二用をもつて詩歌の

○六義乃今の和訓の変

さて頁第二行目を句とするまでの間を和訓の部とする

風

訓義二風ハ諷諭也 義ニハ風化ト訓ス 我家ニハ諷諭ノ二字ノ意ヲ通ヒテ諭ラシトモ訓スヘキヤ

雅

訓義ニ雅ハ正也直也 古義ニハ正言ト訓ス可シ 和哥ニモ正言ト訓ス

風雅ノ二辞ハ漢土詩経ノ部ノ名ニテ凡ハ虚ヲ以テ天ニ起リ雅ハ実ヲ以テ地ニ止ル此故ニ我家ニハ風雅ヲ虚実ノ二用ト見テ風ニ懲悪ノ虚ヲ用ヒ雅ニ勧善ノ実ヲ用ヒ雅ニ正直ノ心ヲ汲テ公言トモ訓ラシ

頌

訓義ニ頌ハ稱ル量ル美也 義ニハ祝言ト訓ス可シ 和歌ニモ祝歌ト訓ス

賦

訓義ニ賦ハ鋪ク量ル 古義ニハ等歌トアリ眼前ノ物ヲ等ヘテ言ト訓ス可シ 和歌ニモ等歌トアリ此ト奥ト八姿情ノ本意ヲ直ニ姿情ヲ演ル謂也 定家ノ釈文ニモ賦ハ哥人ノ本意ヲ直ニ述ル文章ノ惣名也

比

訓義ニ比ハ諭ル 古義ニハ準ラフト訓ス可シ 和歌ニモ準哥トアリ此ト奥トハ姿情ニ先後ノ心得アリテ此ハ物ヲ取テ其姿ニ準ヘ奥ハ物ニ托メ其情ヲ起ス物ヲ催スト物ニ催サルトノ自他ヲ知ル可シ 此等ノ俳佪ノ微中モ解紛トモ云ヘキナリ

興

訓義ニ興ハ誘引ノ義ナリ 義ニハ誘言訓ス可シ 和歌ニハ喩哥ト訓ス 凡此ノ二訓ニ約ハレ奥ノ一義ハ和漢トモニ不分明ニシテ詩ハ以テ可興ストハ四季ノ月雪ノ花鳥ニ誘ハレテ優游ノ情ヲ興セトノ謂ニ奥ハ変ニテ遊奥ノ興ト註スル可シ 一義ハ詩哥ノ大本トシル可シ

① 發句ハ物字結題ノ物ニ対シテ事ヲ詠ル句ヲ云

一連ニテ悟ヲ動ス六韻ヲ静トシ物ヲ述ヘテ事ヲ定ルヲ述トシ物ニ対シテ事ヲ詠ルヲ連トシ前ノ句ヲ受ケテ後ノ句ヲ付ルヲ続トシ一首ノ内ニ十八字ヲ以テ心詞ヲ尽シ物ヲ詠シテ事ヲ是ヲ判札ノ法トスル事ヲ中ノ句ト云 挨拶句ト云名目ノ事ハ

心句ハ云ヘキニ非ス

然ノ事

東花云心句トハ発句ノ事ヲ云ヘキニ非ス

ヒトヘニ心ヲ以テ詠スル句ヲ云ヘシトノ事ナリ

然ノ事

東花云平常迅速ヲ旨トシ句ヲ案シ字ヲ思ヒ煩ヒ苦ムヘカラサルヲ云ヘリ

蝉ノ事

東花云朝夕ノ名ヲ以テ秋ヲ告ル事ヲ云ヘリ

此切を初る事いさゝか何となく意をいふこゝに仏と云事詞を
強く接事心を持て心地をとゝのへ
を知るべし　これらは五七の句絶のおもて心と詞を明なる由こゝに心切といふ別
名也古来これを一句とも三節とも
かゝるべきくだりの次句も切字の事自ら
東花云下座の切れ
幸浅の意は善を
心詞の外なる事也句絶の事ありて是従下座の切字ありて
中切猫の恋やむ時移りけん
初めてこゝに出て
心切ありて移と此切とを一句三節
二段ともに別名也
接切　人の家をかりもて我も幸有
文化　旅なれや木の下闇の月夜
心切ありて移と此切とを一句三節
二段ともに別名也

十四　切字全新創之事
東華云

十三ヶ条二段の名別名は心切の別名と云事なり

◎切字ハ二字切　三字切　四字切　五字切　六字切　七字切　八字切　九字切　十字切　十一字切　十二字切　十三字切　十四字切　十五字切　十六字切　十七字切　十八字切　十九字切　二十字切　二十一字切　二十二字切　二十三字切　二十四字切　二十五字切　二十六字切　二十七字切　二十八字切　二十九字切　三十字切　三十一字切　三十二字切　三十三字切　三十四字切　三十五字切　三十六字切　三十七字切　三十八字切　三十九字切　四十字切　四十一字切　四十二字切　四十三字切　四十四字切　四十五字切　四十六字切　四十七字切　四十八字切　四十九字切　五十字切　五十一字切　五十二字切　五十三字切　五十四字切　五十五字切　五十六字切　五十七字切　五十八字切　五十九字切　六十字切　六十一字切　六十二字切　六十三字切　六十四字切　六十五字切　六十六字切　六十七字切　六十八字切　六十九字切　七十字切　七十一字切　七十二字切　七十三字切　七十四字切　七十五字切　七十六字切　七十七字切　七十八字切　七十九字切　八十字切　八十一字切　八十二字切　八十三字切　八十四字切　八十五字切　八十六字切　八十七字切　八十八字切　八十九字切　九十字切　九十一字切　九十二字切　九十三字切　九十四字切　九十五字切　九十六字切　九十七字切　九十八字切　九十九字切　百字切　百一字切　百二字切　百三字切　百四字切　百五字切　百六字切　百七字切　百八字切　百九字切　百十字切　百十一字切　百十二字切　百十三字切　百十四字切　百十五字切　百十六字切　百十七字切　百十八字切　百十九字切　百二十字切　百二十一字切　百二十二字切　百二十三字切　百二十四字切　百二十五字切　百二十六字切　百二十七字切　百二十八字切　百二十九字切　百三十字切　百三十一字切　百三十二字切　百三十三字切　百三十四字切　百三十五字切　百三十六字切　百三十七字切　百三十八字切　百三十九字切　百四十字切　百四十一字切　百四十二字切　百四十三字切　百四十四字切　百四十五字切　百四十六字切　百四十七字切　百四十八字切　百四十九字切　百五十字切　百五十一字切　百五十二字切　百五十三字切　百五十四字切　百五十五字切　百五十六字切　百五十七字切　百五十八字切　百五十九字切　百六十字切　百六十一字切　百六十二字切　百六十三字切　百六十四字切　百六十五字切　百六十六字切　百六十七字切　百六十八字切　百六十九字切　百七十字切　百七十一字切　百七十二字切　百七十三字切　百七十四字切　百七十五字切　百七十六字切　百七十七字切　百七十八字切　百七十九字切　百八十字切　百八十一字切　百八十二字切　百八十三字切　百八十四字切　百八十五字切　百八十六字切　百八十七字切　百八十八字切　百八十九字切　百九十字切　百九十一字切　百九十二字切　百九十三字切　百九十四字切　百九十五字切　百九十六字切　百九十七字切　百九十八字切　百九十九字切　二百字切　二百一字切　二百二字切　二百三字切　二百四字切　二百五字切　二百六字切　二百七字切　二百八字切　二百九字切　二百十字切　二百十一字切　二百十二字切　二百十三字切　二百十四字切　二百十五字切　二百十六字切　二百十七字切　二百十八字切　二百十九字切　二百二十字切　二百二十一字切　二百二十二字切　二百二十三字切　二百二十四字切　二百二十五字切　二百二十六字切　二百二十七字切　二百二十八字切　二百二十九字切　三百字切　三百一字切　三百二字切　三百三字切　三百四字切　三百五字切　三百六字切　三百七字切　三百八字切　三百九字切　三百十字切　三百十一字切　三百十二字切　三百十三字切　三百十四字切　三百十五字切　三百十六字切　三百十七字切　三百十八字切　三百十九字切　三百二十字切　三百二十一字切　三百二十二字切　三百二十三字切　三百二十四字切　三百二十五字切　三百二十六字切　三百二十七字切　三百二十八字切　三百二十九字切　四百字切　四百一字切　四百二字切　四百三字切　四百四字切　四百五字切　四百六字切　四百七字切　四百八字切　四百九字切　四百十字切　四百十一字切　四百十二字切　四百十三字切　四百十四字切　四百十五字切　四百十六字切　四百十七字切　四百十八字切　四百十九字切　四百二十字切　四百二十一字切　四百二十二字切　四百二十三字切　四百二十四字切　四百二十五字切　四百二十六字切　四百二十七字切　四百二十八字切　四百二十九字切　五百字切　五百一字切　五百二字切　五百三字切　五百四字切　五百五字切　五百六字切　五百七字切　五百八字切　五百九字切　五百十字切　五百十一字切　五百十二字切　五百十三字切　五百十四字切　五百十五字切　五百十六字切　五百十七字切　五百十八字切　五百十九字切　五百二十字切　五百二十一字切　五百二十二字切　五百二十三字切　五百二十四字切　五百二十五字切　五百二十六字切　五百二十七字切　五百二十八字切　五百二十九字切　六百字切　六百一字切　六百二字切　六百三字切　六百四字切　六百五字切　六百六字切　六百七字切　六百八字切　六百九字切　六百十字切　六百十一字切　六百十二字切　六百十三字切　六百十四字切　六百十五字切　六百十六字切　六百十七字切　六百十八字切　六百十九字切　六百二十字切　六百二十一字切　六百二十二字切　六百二十三字切　六百二十四字切　六百二十五字切　六百二十六字切　六百二十七字切　六百二十八字切　六百二十九字切　七百字切　七百一字切　七百二字切　七百三字切　七百四字切　七百五字切　七百六字切　七百七字切　七百八字切　七百九字切　七百十字切　七百十一字切　七百十二字切　七百十三字切　七百十四字切　七百十五字切　七百十六字切　七百十七字切　七百十八字切　七百十九字切　七百二十字切　七百二十一字切　七百二十二字切　七百二十三字切　七百二十四字切　七百二十五字切　七百二十六字切　七百二十七字切　七百二十八字切　七百二十九字切　八百字切　八百一字切　八百二字切　八百三字切　八百四字切　八百五字切　八百六字切　八百七字切　八百八字切　八百九字切　八百十字切　八百十一字切　八百十二字切　八百十三字切　八百十四字切　八百十五字切　八百十六字切　八百十七字切　八百十八字切　八百十九字切　八百二十字切　八百二十一字切　八百二十二字切　八百二十三字切　八百二十四字切　八百二十五字切　八百二十六字切　八百二十七字切　八百二十八字切　八百二十九字切　九百字切　九百一字切　九百二字切　九百三字切　九百四字切　九百五字切　九百六字切　九百七字切　九百八字切　九百九字切　九百十字切　九百十一字切　九百十二字切　九百十三字切　九百十四字切　九百十五字切　九百十六字切　九百十七字切　九百十八字切　九百十九字切　九百二十字切　九百二十一字切　九百二十二字切　九百二十三字切　九百二十四字切　九百二十五字切　九百二十六字切　九百二十七字切　九百二十八字切　九百二十九字切　千字切

二字切　哀れなる　あはれなる　雪ふる　雨ふる　風吹く　月出る　旅なれや　旅なれば　我もまた　我も幸

三字切　あはれなる　あはれなる　雪ふる　雨ふる　風吹く　月出る　旅なれや　旅なれば　我もまた　我も幸

いずれも二字切の事ありてそれと名目乱事なし

東花云世上にある詞は皆字まで切字の事ありて海の松風音
ありひさこに限切の名連ねたれども
歌の如き誹諧の発句にては五音なる句のみ切字ありて外の
みなるもの切字の事なり　花のもとにて
一日も葉ごもりこそ
桜の葉　さくらの葉
二字切の例よりて二段切名目
なく候ことなり

[illegal] [illegal] [illegal] [

即興駢京漢も花を折もうさを移又ゆくも撲風
一雪の詩客もてもてなす詩の論もはなやかに
書風拙稿小行まにまにも 額懸
筆も書川も絵かいて法も同字も異字も
漢家の詩拙もいうとやらん
琴字拙京ニ帝ニ帝ニ帝ニ 加賀八重桜
書翰も名家も何拙行拙とも嫌ふ事なく

○二品ニ帝の字に多用ひて疑の辞と称類
一拙もさに漢家の字書もて載
とも二用といまだ俗あり
字と載ハ疑の辞をもちゐ
時をやなどもの字ハ大和の助詞にて漢あり

那の字ハそもの字也唯嗟の時歎といふて那字と通ず
那の二字なり
事記云表をみ定のことをもて
とをも称とをの二字は義
の位別あるひて象九一字
ほまいかゝ哉をふくの意と
今拙ふる称歎といふを一名二義
あり歎息歎美して歎息の余韻
那の歎といふ利例の時も称と歎
拙哉那ヤ哉とをもて哉ハ疑
一俗語ニ哉ニ哉ニ哉

の字あいのそれ一句ずつ別々に
一格字の幸はひとつ一字あて添ひ
ゐおよそおのおのの字いたわの助辞
起 就くとそひやりもまゐみのとも等
をりけるかの歟かてらともひとつ
等の字を以後起とも句ゐ今いふ
ら長的古式の賦物をまた三
ゐそいこゐひとつ一字の具をひとつ
一表八句の時も百句をこゐもちひ
一餐宵寂内間ちを格の一字
ゐれ統に餐句ゐおよ字の字別
ゐ

○百韻ゐ表八句の事
一百句連ゐの本式といふ表十句
今も俳諧ゐ礼節ゐまもりてや
いつく長的古式の賦物をまた三
ゐそいこゐひとつ一字の具をひとつ
一表八句の時も百句をこゐもちひ
一餐宵寂内間ちを格の一字
ゐれ統に餐句ゐおよ字の字別

一眼とゐ付万物の一ゐ付ゐまゐ
陰陽の和合といふ一ゐ君臣ゐそ二
情紀おゐ字ゐ
一神天二六万物紀生をいふ天運
餐句ゐ深ゐふゐれゐ格ゐまゐ
一古式ゐ韻字面をゐ一句ゐ字ゐ付ゐ

一四句目ゐ天の数をこゐをて万物をこゐ
のゐ事ゐそ附句の趣味を論ずる
一五六句ゐ一座ゐ地をゐ七句目ゐ月
月の今秋とゐ
表紙をゐてゐ芽ゐの二躰ゐ曲節
さゐゐゐ

○四折 曲節 地
一百韻四折八面也
神折 地を先そて附ゐ

表と裏と面ゐ懐紙乃見法也

二折ハ　半地まで低く礼をして

三折ハ　

名残折ハ

曲毎毎の二折ハ自然の法則

不易のものと云ふ　何ハ五倫の朝夕に常に用ゐる

角や服装のやうな言語をさす

○自然花の支

一自然ハ風雅のやうや云ふ句ハ

詞を求めて世俗の俳諧ぶりとする

一花を待の景色ハ

と改めて

まで

ぬと云ふて同じ字を吟声乃至別音にそれ
等を一訓の凡例とする
一数字も送り字も其同の事を先あしてお字のうへにそ
むべきなれど一つ事ゆ山ゆとかのごとく送り字の同物のれも二字ともおなじ
とおなじ
一屏風ゆのごとき名ものれと杉風ゆごとく其同物のれも二字ともおなじ
ふ日ゆ二字ともれいけ合はず
一古墳ゆ象ゆごとき物ゆ屋敷ゆ類ゆ
一名所人名物の名同字別訓ゆ事
一今の字訓ゆごとく文字のうへにそれぞれ訓を附するものと
漢物のかのごとく是ぜ音訓共に施すものとの二種あり
一音訓ともに施すものは一字ごとに音訓を附するものと
さる音訓の別ゆごとし

一新ゆごとく降りれ類ゆ数をかぎりて同じ
一二字ともに物ゆ類ゆ二字ともに物にゆ家ゆ垣ゆごとし
一二字ともに五字ともふそれ
会楼のごとし
一輪廻の事 俳諧ゆ用ゆ足ゆ事ゆ
事語場ゆ風俗ごとく大ごゆ洗ゆ
一季ゆ詩文ゆ分ゆ歳ゆ事ゆ
一雑物解題ゆ文 家ゆ垣ゆ川ゆ橋等ゆ
ゆごとく此例ゆごとく二字ゆ
一額字ゆ文句ゆ字ゆれゆ俳諧ゆ
門ゆごとし
一二字一句ゆ文 鬼ゆ
数ゆ定ゆ事ゆ

○花野　秋　季秋の二季ものゝ

川狩　秋　季秋の二季ものゝ

此字は句の例ゆゑ雑とせり

○鶺鴒　季秋の二季ものゝ

長句一句ゝ雑とせり　前句附句ゝつゞきていこと字ゝ添ても雑とせり

鮭簗　以下同じ

雁　季冬の時ゝ雪にそらの句ゝ

らくらくこと字ゝ雪ゝみわたるの句ゝ

同雪ゝこと句ゝとめたるの句ゝ

△一季のもの雑とするもの

一鳥の巣　ちどりも雪ゝ雑とせり

鶺鴒　ちどりは雑とらくらくこと字に同じ

雪の巣　蜘蛛の巣　雪の巣　雑とせり

風呂　被布物　同扇　同水汗川狩　皆秋季同じ

灯籠　燈籠　鳥威　鳥追　野遊　皆雑とす

庵風呂　同蚊帳　埋火　炬燵　皆冬雑とす

搗精　焼米　又　氷　紙子　の類は句ゝ

綿　蒲団　夜具　蚊帳　頭巾　皆雑とす

据切も例ゝ同雪ゝとめたるの句ゝ

右五句ゝ雪ゝとめたるの句ゝ雑とす

くらくらこと字ゝ同雪ゝとめたるの句ゝ雑とす

◎雑の答句体事

一新撰雪月花雑の部式ゝ雪ゝの松ゝ

蓮二云吾師の部ゝ

「雪ゝ雪ゝ雪ゝ芳野山

松ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝの雑

雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝの山

かゝる句ゝ雪ゝ雑中の雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝの山と雑中の山とを

ゝ山ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝの山と雑中の山とを

四季の詠名類の事

春

節會　汐干　雪解　陽炎　海苔
海髪　海雲　薄（ヒシキ）　海松
菫　鶯（ウグヒス）　薤　蒜　若葱　葱（ヒトモジ）　亀葱（アサツキ）　苅葱（カリキ）　相葱
鶏合（軒ルトセルトモ）　郭公　等の菜ぐさもそれ〴〵に及ぶ
末代恒例

夏

若葉　若葉花　蕨
牡丹　杜若　残花　杜若
松竹高葉（ちかくとも高きを高くとも高くとも松竹の風雅なり相生なるべし）
老鶯　雪隠子　鶯　水雲　菰
等の菜（等の字なくともよし）
沖鶏　汐汁　香（手足の姿なり鶏を煮しられば千式の凡例也）
菖蒲　柏　菰
鳥賊の鮨　鳥賊　鮫吹　柏莪

秋

紅葉散（ツの字なくともよし）　柏　柏槲　柘
新蕎麦　刈田鶴　野宮別
柏尾花　砧　菊　雁　虫（ミリサシ）　行鶏（ユクトリ）　未完
萩　桔梗（カイカラ）　桔井（ツリ）（例の事なり新古今の詞也）
雁　雁の鮨　雁　尾紙乃鶴　綿入
檜扇　綿と檜と今式の詞なり歌ともなり故実也）　冬設　重陽
菊塔　菊の苗なり歌ともなり故実也）　大根引　手房花（新古今）

連歌の句式を集載す　家祝　松茸　松露　松露　松茸
の五百句余　同　同　同　同　同　同　同　同　同　同
あつて一ツ等一万句まで

冬

俳諧　仮名　仮名
一ツ聲　付ころ　ふの字　ふの字　傳　仮名　仮名
ころも書法の事　ふの字と書法の事　ふの字と書法の事　ふの字と書法の事　ふの字と書法の事　ふの字と書法の事

一杜鵑　深見草　柳桜　松の雪　芭蕉　鍋牛
鸛鶴　此十品は象物の称号にして今の式も異名音訓ともに是に同じ

一古歌を思ひ出でを婦ふ意乃至神代より代答ふるの
ごとくにして是等は遠ひ出でて今作式は違ふや

一玉梓と云ふ。連枝と云ふ。いづれも玉ひて云ふ
ものと古歌にいへるを二名一躰のごとく
一栄誉枕二品は、老栄と云ひ最後枕と云ふやうの名目にて
一歳人云ふ。これの名目或は必ずしも

眠（ねぶる　ねぶり　ねぶれ）　ひる　ひる　ひるる
東花云伝名ハ名ヲ弟一ニ云ヒ一名ヲ弟二ニ云ヒ一名ヲ弟三ニ云ヒ一名ヲ弟四ニ云ヒ一名ヲ弟五ニ云ヒ一名ヲ弟六ニ云ヒ一名ヲ弟七ニ云ヒ一名ヲ弟八ニ云ヒ一名ヲ弟九ニ云ヒ一名ヲ弟十ニ云ヒ一名ヲ弟十一ニ云ヒ一名ヲ弟十二ニ云ヒ一名ヲ弟十三ニ云ヒ一名ヲ弟十四ニ云ヒ一名ヲ弟十五ニ云ヒ一名ヲ弟十六ニ云ヒ一名ヲ弟十七ニ云ヒ一名ヲ弟十八ニ云ヒ一名ヲ弟十九ニ云ヒ一名ヲ弟二十ニ云ヒ一名ヲ弟二十一ニ云ヒ一名ヲ弟二十二ニ云ヒ一名ヲ弟二十三ニ云ヒ一名ヲ弟二十四ニ云ヒ一名ヲ弟二十五ニ云ヒ一名ヲ弟二十六ニ云ヒ一名ヲ弟二十七ニ云ヒ一名ヲ弟二十八ニ云ヒ一名ヲ弟二十九ニ云ヒ一名ヲ弟三十ニ云ヒ一名ヲ弟三十一ニ云ヒ一名ヲ弟三十二ニ云ヒ一名ヲ弟三十三ニ云ヒ一名ヲ弟三十四ニ云ヒ一名ヲ弟三十五ニ云ヒ一名ヲ弟三十六ニ云ヒ一名ヲ弟三十七ニ云ヒ一名ヲ弟三十八ニ云ヒ一名ヲ弟三十九ニ云ヒ一名ヲ弟四十ニ云ヒ一名ヲ弟四十一ニ云ヒ一名ヲ弟四十二ニ云ヒ一名ヲ弟四十三ニ云ヒ一名ヲ弟四十四ニ云ヒ一名ヲ弟四十五ニ云ヒ一名ヲ弟四十六ニ云ヒ一名ヲ弟四十七ニ云ヒ一名ヲ弟四十八ニ云ヒ一名ヲ弟四十九ニ云ヒ一名ヲ弟五十ニ云ヒ一名ヲ弟五十一ニ云ヒ一名ヲ弟五十二ニ云ヒ一名ヲ弟五十三ニ云ヒ一名ヲ弟五十四ニ云ヒ一名ヲ弟五十五ニ云ヒ一名ヲ弟五十六ニ云ヒ一名ヲ弟五十七ニ云ヒ一名ヲ弟五十八ニ云ヒ一名ヲ弟五十九ニ云ヒ一名ヲ弟六十ニ云ヒ一名ヲ弟六十一ニ云ヒ一名ヲ弟六十二ニ云ヒ一名ヲ弟六十三ニ云ヒ一名ヲ弟六十四ニ云ヒ一名ヲ弟六十五ニ云ヒ一名ヲ弟六十六ニ云ヒ一名ヲ弟六十七ニ云ヒ一名ヲ弟六十八ニ云ヒ一名ヲ弟六十九ニ云ヒ一名ヲ弟七十ニ云ヒ一名ヲ弟七十一ニ云ヒ一名ヲ弟七十二ニ云ヒ一名ヲ弟七十三ニ云ヒ一名ヲ弟七十四ニ云ヒ一名ヲ弟七十五ニ云ヒ一名ヲ弟七十六ニ云ヒ一名ヲ弟七十七ニ云ヒ一名ヲ弟七十八ニ云ヒ一名ヲ弟七十九ニ云ヒ一名ヲ弟八十ニ云ヒ一名ヲ弟八十一ニ云ヒ一名ヲ弟八十二ニ云ヒ一名ヲ弟八十三ニ云ヒ一名ヲ弟八十四ニ云ヒ一名ヲ弟八十五ニ云ヒ一名ヲ弟八十六ニ云ヒ一名ヲ弟八十七ニ云ヒ一名ヲ弟八十八ニ云ヒ一名ヲ弟八十九ニ云ヒ一名ヲ弟九十ニ云ヒ一名ヲ弟九十一ニ云ヒ一名ヲ弟九十二ニ云ヒ一名ヲ弟九十三ニ云ヒ一名ヲ弟九十四ニ云ヒ一名ヲ弟九十五ニ云ヒ一名ヲ弟九十六ニ云ヒ一名ヲ弟九十七ニ云ヒ一名ヲ弟九十八ニ云ヒ一名ヲ弟九十九ニ云ヒ一名ヲ弟百ニ云ヒ一名ヲ弟百一ニ云ヒ一名ヲ弟百二ニ云ヒ一名ヲ弟百三ニ云ヒ一名ヲ弟百四ニ云ヒ一名ヲ弟百五ニ云ヒ一名ヲ弟百六ニ云ヒ一名ヲ弟百七ニ云ヒ一名ヲ弟百八ニ云ヒ一名ヲ弟百九ニ云ヒ一名ヲ弟百十ニ云ヒ一名ヲ弟百十一ニ云ヒ一名ヲ弟百十二ニ云ヒ一名ヲ弟百十三ニ云ヒ一名ヲ弟百十四ニ云ヒ一名ヲ弟百十五ニ云ヒ一名ヲ弟百十六ニ云ヒ一名ヲ弟百十七ニ云ヒ一名ヲ弟百十八ニ云ヒ一名ヲ弟百十九ニ云ヒ一名ヲ弟百二十ニ云ヒ一名ヲ弟百二十一ニ云ヒ一名ヲ弟百二十二ニ云ヒ一名ヲ弟百二十三ニ云ヒ一名ヲ弟百二十四ニ云ヒ一名ヲ弟百二十五ニ云ヒ一名ヲ弟百二十六ニ云ヒ一名ヲ弟百二十七ニ云ヒ一名ヲ弟百二十八ニ云ヒ一名ヲ弟百二十九ニ云ヒ一名ヲ弟百三十ニ云ヒ一名ヲ弟百三十一ニ云ヒ一名ヲ弟百三十二ニ云ヒ一名ヲ弟百三十三ニ云ヒ一名ヲ弟百三十四ニ云ヒ一名ヲ弟百三十五ニ云ヒ一名ヲ弟百三十六ニ云ヒ一名ヲ弟百三十七ニ云ヒ一名ヲ弟百三十八ニ云ヒ一名ヲ弟百三十九ニ云ヒ一名ヲ弟百四十ニ云ヒ一名ヲ弟百四十一ニ云ヒ一名ヲ弟百四十二ニ云ヒ一名ヲ弟百四十三ニ云ヒ一名ヲ弟百四十四ニ云ヒ一名ヲ弟百四十五ニ云ヒ一名ヲ弟百四十六ニ云ヒ一名ヲ弟百四十七ニ云ヒ一名ヲ弟百四十八ニ云ヒ一名ヲ弟百四十九ニ云ヒ一名ヲ弟百五十ニ云ヒ一名ヲ弟百五十一ニ云ヒ一名ヲ弟百五十二ニ云ヒ一名ヲ弟百五十三ニ云ヒ一名ヲ弟百五十四ニ云ヒ一名ヲ弟百五十五ニ云ヒ一名ヲ弟百五十六ニ云ヒ一名ヲ弟百五十七ニ云ヒ一名ヲ弟百五十八ニ云ヒ一名ヲ弟百五十九ニ云ヒ一名ヲ弟百六十ニ云ヒ一名ヲ弟百六十一ニ云ヒ一名ヲ弟百六十二ニ云ヒ一名ヲ弟百六十三ニ云ヒ一名ヲ弟百六十四ニ云ヒ一名ヲ弟百六十五ニ云ヒ一名ヲ弟百六十六ニ云ヒ一名ヲ弟百六十七ニ云ヒ一名ヲ弟百六十八ニ云ヒ一名ヲ弟百六十九ニ云ヒ一名ヲ弟百七十ニ云ヒ一名ヲ弟百七十一ニ云ヒ一名ヲ弟百七十二ニ云ヒ一名ヲ弟百七十三ニ云ヒ一名ヲ弟百七十四ニ云ヒ一名ヲ弟百七十五ニ云ヒ一名ヲ弟百七十六ニ云ヒ一名ヲ弟百七十七ニ云ヒ一名ヲ弟百七十八ニ云ヒ一名ヲ弟百七十九ニ云ヒ一名ヲ弟百八十ニ云ヒ一名ヲ弟百八十一ニ云ヒ一名ヲ弟百八十二ニ云ヒ一名ヲ弟百八十三ニ云ヒ一名ヲ弟百八十四ニ云ヒ一名ヲ弟百八十五ニ云ヒ一名ヲ弟百八十六ニ云ヒ一名ヲ弟百八十七ニ云ヒ一名ヲ弟百八十八ニ云ヒ一名ヲ弟百八十九ニ云ヒ一名ヲ弟百九十ニ云ヒ一名ヲ弟百九十一ニ云ヒ一名ヲ弟百九十二ニ云ヒ一名ヲ弟百九十三ニ云ヒ一名ヲ弟百九十四ニ云ヒ一名ヲ弟百九十五ニ云ヒ一名ヲ弟百九十六ニ云ヒ一名ヲ弟百九十七ニ云ヒ一名ヲ弟百九十八ニ云ヒ一名ヲ弟百九十九ニ云ヒ一名ヲ弟二百ニ云ヒ一名ヲ弟二百一ニ云ヒ一名ヲ弟二百二ニ云ヒ一名ヲ弟二百三ニ云ヒ一名ヲ弟二百四ニ云ヒ一名ヲ弟二百五ニ云ヒ一名ヲ弟二百六ニ云ヒ一名ヲ弟二百七ニ云ヒ一名ヲ弟二百八ニ云ヒ一名ヲ弟二百九ニ云ヒ一名ヲ弟二百十ニ云ヒ一名ヲ弟二百十一ニ云ヒ一名ヲ弟二百十二ニ云ヒ一名ヲ弟二百十三ニ云ヒ一名ヲ弟二百十四ニ云ヒ一名ヲ弟二百十五ニ云ヒ一名ヲ弟二百十六ニ云ヒ一名ヲ弟二百十七ニ云ヒ一名ヲ弟二百十八ニ云ヒ一名ヲ弟二百十九ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十一ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十二ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十三ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十四ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十五ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十六ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十七ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十八ニ云ヒ一名ヲ弟二百二十九ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十一ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十二ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十三ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十四ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十五ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十六ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十七ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十八ニ云ヒ一名ヲ弟二百三十九ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十一ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十二ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十三ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十四ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十五ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十六ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十七ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十八ニ云ヒ一名ヲ弟二百四十九ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十一ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十二ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十三ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十四ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十五ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十六ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十七ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十八ニ云ヒ一名ヲ弟二百五十九ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十一ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十二ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十三ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十四ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十五ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十六ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十七ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十八ニ云ヒ一名ヲ弟二百六十九ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十一ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十二ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十三ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十四ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十五ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十六ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十七ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十八ニ云ヒ一名ヲ弟二百七十九ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十一ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十二ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十三ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十四ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十五ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十六ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十七ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十八ニ云ヒ一名ヲ弟二百八十九ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十一ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十二ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十三ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十四ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十五ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十六ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十七ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十八ニ云ヒ一名ヲ弟二百九十九ニ云ヒ一名ヲ弟三百ニ云ヒ一名ヲ弟三百一ニ云ヒ一名ヲ弟三百二ニ云ヒ一名ヲ弟三百三ニ云ヒ一名ヲ弟三百四ニ云ヒ一名ヲ弟三百五ニ云ヒ一名ヲ弟三百六ニ云ヒ一名ヲ弟三百七ニ云ヒ一名ヲ弟三百八ニ云ヒ一名ヲ弟三百九ニ云ヒ一名ヲ弟三百十ニ云ヒ一名ヲ弟三百十一ニ云ヒ一名ヲ弟三百十二ニ云ヒ一名ヲ弟三百十三ニ云ヒ一名ヲ弟三百十四ニ云ヒ一名ヲ弟三百十五ニ云ヒ一名ヲ弟三百十六ニ云ヒ一名ヲ弟三百十七ニ云ヒ一名ヲ弟三百十八ニ云ヒ一名ヲ弟三百十九ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十一ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十二ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十三ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十四ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十五ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十六ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十七ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十八ニ云ヒ一名ヲ弟三百二十九ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十一ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十二ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十三ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十四ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十五ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十六ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十七ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十八ニ云ヒ一名ヲ弟三百三十九ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十一ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十二ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十三ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十四ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十五ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十六ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十七ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十八ニ云ヒ一名ヲ弟三百四十九ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十一ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十二ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十三ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十四ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十五ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十六ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十七ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十八ニ云ヒ一名ヲ弟三百五十九ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十一ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十二ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十三ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十四ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十五ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十六ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十七ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十八ニ云ヒ一名ヲ弟三百六十九ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十一ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十二ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十三ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十四ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十五ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十六ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十七ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十八ニ云ヒ一名ヲ弟三百七十九ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十一ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十二ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十三ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十四ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十五ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十六ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十七ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十八ニ云ヒ一名ヲ弟三百八十九ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十一ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十二ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十三ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十四ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十五ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十六ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十七ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十八ニ云ヒ一名ヲ弟三百九十九ニ云ヒ一名ヲ弟四百ニ云ヒ一名ヲ弟四百一ニ云ヒ一名ヲ弟四百二ニ云ヒ一名ヲ弟四百三ニ云ヒ一名ヲ弟四百四ニ云ヒ一名ヲ弟四百五ニ云ヒ一名ヲ弟四百六ニ云ヒ一名ヲ弟四百七ニ云ヒ一名ヲ弟四百八ニ云ヒ一名ヲ弟四百九ニ云ヒ一名ヲ弟四百十ニ云ヒ一名ヲ弟四百十一ニ云ヒ一名ヲ弟四百十二ニ云ヒ一名ヲ弟四百十三ニ云ヒ一名ヲ弟四百十四ニ云ヒ一名ヲ弟四百十五ニ云ヒ一名ヲ弟四百十六ニ云ヒ一名ヲ弟四百十七ニ云ヒ一名ヲ弟四百十八ニ云ヒ一名ヲ弟四百十九ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十一ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十二ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十三ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十四ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十五ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十六ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十七ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十八ニ云ヒ一名ヲ弟四百二十九ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十一ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十二ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十三ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十四ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十五ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十六ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十七ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十八ニ云ヒ一名ヲ弟四百三十九ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十一ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十二ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十三ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十四ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十五ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十六ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十七ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十八ニ云ヒ一名ヲ弟四百四十九ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十一ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十二ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十三ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十四ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十五ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十六ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十七ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十八ニ云ヒ一名ヲ弟四百五十九ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十一ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十二ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十三ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十四ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十五ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十六ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十七ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十八ニ云ヒ一名ヲ弟四百六十九ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十一ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十二ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十三ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十四ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十五ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十六ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十七ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十八ニ云ヒ一名ヲ弟四百七十九ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十一ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十二ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十三ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十四ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十五ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十六ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十七ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十八ニ云ヒ一名ヲ弟四百八十九ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十一ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十二ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十三ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十四ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十五ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十六ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十七ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十八ニ云ヒ一名ヲ弟四百九十九ニ云ヒ一名ヲ弟五百ニ云ヒ一名ヲ弟五百一ニ云ヒ一名ヲ弟五百二ニ云ヒ一名ヲ弟五百三ニ云ヒ一名ヲ弟五百四ニ云ヒ一名ヲ弟五百五ニ云ヒ一名ヲ弟五百六ニ云ヒ一名ヲ弟五百七ニ云ヒ一名ヲ弟五百八ニ云ヒ一名ヲ弟五百九ニ云ヒ一名ヲ弟五百十ニ云ヒ一名ヲ弟五百十一ニ云ヒ一名ヲ弟五百十二ニ云ヒ一名ヲ弟五百十三ニ云ヒ一名ヲ弟五百十四ニ云ヒ一名ヲ弟五百十五ニ云ヒ一名ヲ弟五百十六ニ云ヒ一名ヲ弟五百十七ニ云ヒ一名ヲ弟五百十八ニ云ヒ一名ヲ弟五百十九ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十一ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十二ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十三ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十四ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十五ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十六ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十七ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十八ニ云ヒ一名ヲ弟五百二十九ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十一ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十二ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十三ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十四ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十五ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十六ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十七ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十八ニ云ヒ一名ヲ弟五百三十九ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十一ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十二ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十三ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十四ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十五ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十六ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十七ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十八ニ云ヒ一名ヲ弟五百四十九ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十一ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十二ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十三ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十四ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十五ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十六ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十七ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十八ニ云ヒ一名ヲ弟五百五十九ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十一ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十二ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十三ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十四ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十五ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十六ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十七ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十八ニ云ヒ一名ヲ弟五百六十九ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十一ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十二ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十三ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十四ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十五ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十六ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十七ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十八ニ云ヒ一名ヲ弟五百七十九ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十一ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十二ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十三ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十四ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十五ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十六ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十七ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十八ニ云ヒ一名ヲ弟五百八十九ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十一ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十二ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十三ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十四ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十五ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十六ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十七ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十八ニ云ヒ一名ヲ弟五百九十九ニ云ヒ一名ヲ弟六百ニ云ヒ一名ヲ弟六百一ニ云ヒ一名ヲ弟六百二ニ云ヒ一名ヲ弟六百三ニ云ヒ一名ヲ弟六百四ニ云ヒ一名ヲ弟六百五ニ云ヒ一名ヲ弟六百六ニ云ヒ一名ヲ弟六百七ニ云ヒ一名ヲ弟六百八ニ云ヒ一名ヲ弟六百九ニ云ヒ一名ヲ弟六百十ニ云ヒ一名ヲ弟六百十一ニ云ヒ一名ヲ弟六百十二ニ云ヒ一名ヲ弟六百十三ニ云ヒ一名ヲ弟六百十四ニ云ヒ一名ヲ弟六百十五ニ云ヒ一名ヲ弟六百十六ニ云ヒ一名ヲ弟六百十七ニ云ヒ一名ヲ弟六百十八ニ云ヒ一名ヲ弟六百十九ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十一ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十二ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十三ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十四ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十五ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十六ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十七ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十八ニ云ヒ一名ヲ弟六百二十九ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十一ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十二ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十三ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十四ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十五ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十六ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十七ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十八ニ云ヒ一名ヲ弟六百三十九ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十一ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十二ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十三ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十四ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十五ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十六ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十七ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十八ニ云ヒ一名ヲ弟六百四十九ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十一ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十二ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十三ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十四ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十五ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十六ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十七ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十八ニ云ヒ一名ヲ弟六百五十九ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十一ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十二ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十三ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十四ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十五ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十六ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十七ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十八ニ云ヒ一名ヲ弟六百六十九ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十一ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十二ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十三ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十四ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十五ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十六ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十七ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十八ニ云ヒ一名ヲ弟六百七十九ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十一ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十二ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十三ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十四ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十五ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十六ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十七ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十八ニ云ヒ一名ヲ弟六百八十九ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十一ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十二ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十三ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十四ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十五ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十六ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十七ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十八ニ云ヒ一名ヲ弟六百九十九ニ云ヒ一名ヲ弟七百ニ云ヒ一名ヲ弟七百一ニ云ヒ一名ヲ弟七百二ニ云ヒ一名ヲ弟七百三ニ云ヒ一名ヲ弟七百四ニ云ヒ一名ヲ弟七百五ニ云ヒ一名ヲ弟七百六ニ云ヒ一名ヲ弟七百七ニ云ヒ一名ヲ弟七百八ニ云ヒ一名ヲ弟七百九ニ云ヒ一名ヲ弟七百十ニ云ヒ一名ヲ弟七百十一ニ云ヒ一名ヲ弟七百十二ニ云ヒ一名ヲ弟七百十三ニ云ヒ一名ヲ弟七百十四ニ云ヒ一名ヲ弟七百十五ニ云ヒ一名ヲ弟七百十六ニ云ヒ一名ヲ弟七百十七ニ云ヒ一名ヲ弟七百十八ニ云ヒ一名ヲ弟七百十九ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十一ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十二ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十三ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十四ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十五ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十六ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十七ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十八ニ云ヒ一名ヲ弟七百二十九ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十一ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十二ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十三ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十四ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十五ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十六ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十七ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十八ニ云ヒ一名ヲ弟七百三十九ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十一ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十二ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十三ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十四ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十五ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十六ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十七ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十八ニ云ヒ一名ヲ弟七百四十九ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十一ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十二ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十三ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十四ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十五ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十六ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十七ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十八ニ云ヒ一名ヲ弟七百五十九ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十一ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十二ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十三ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十四ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十五ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十六ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十七ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十八ニ云ヒ一名ヲ弟七百六十九ニ云ヒ一名ヲ弟七百七十ニ云ヒ一名ヲ弟七百七十一ニ云ヒ一名ヲ弟七百七十二ニ云ヒ一名ヲ弟七百七十三ニ云ヒ一名ヲ弟七百七十四ニ云ヒ一名ヲ弟七百七十五ニ云ヒ一名ヲ弟七百七十六ニ云ヒ一名

をそなつもそもいろめと連言の物まねをうらく雅俗のいや
みなき家ゝ也一ツ事ゝ
一二官代物 狂代名 と云も是等の名也
ゝ
△女嬬并有職部
一父母男女 此三品は人倫の名例也 以下二句ゝ
一主殿寮 此寮官人倫と定ても公領へ
一僧 今式ゝ人倫ゝ 寺 今式ゝ
一親王 女 天童 天女 帝 御門 仙洞 新院 仙洞物院の二品は居処の名ゝ
此八品は今式ゝ二句ゝ
鬼神
一若菜 時鳥 松 氷 水仙 子の日 尾上
此七品は今式の名目ゝ
一雪 雨 此二品は四つゝしいろめ サメニカワリテハ七ツもハツもよろ

一鐘ゝ 鉄 燈等 此四品ゝ
一冠ゝ 烏帽子 纓ゝ 此五品ゝ二句一意なれども今式ゝ
一沐浴 師走 此二品ゝ名ゝ
一山嵐風 此四品ゝ名ゝ
一帳 御簾 此二品ゝ名ゝ
一冊子 文書 此二品ゝ名ゝ
一硯 墨 筆 筆架 筆筒 筆洗 此六品ゝ名ゝ
一机 案 此二品ゝ名ゝ
一屏風 障子 此二品ゝ名ゝ
一畳 茵 此二品ゝ名ゝ
一帯 此品ゝ名ゝ
一沓 履 此二品ゝ名ゝ
一衣 裳 袴 此三品ゝ名ゝ
一袖 袂 此二品ゝ名ゝ
一裾 此品ゝ名ゝ
一襟 此品ゝ名ゝ
一袷 此品ゝ名ゝ
一単衣 此品ゝ名ゝ
一袿 此品ゝ名ゝ
一袍 此品ゝ名ゝ
一直衣 此品ゝ名ゝ
一狩衣 此品ゝ名ゝ
一水干 此品ゝ名ゝ
一褐衣 此品ゝ名ゝ
一布衣 此品ゝ名ゝ
一法師 此品ゝ名ゝ
一尼 此品ゝ名ゝ
一比丘尼 此品ゝ名ゝ
一沙弥 此品ゝ名ゝ
一山伏 此品ゝ名ゝ
一聖 此品ゝ名ゝ
一行人 此品ゝ名ゝ
一巫 此品ゝ名ゝ
一神主 此品ゝ名ゝ
一禰宜 此品ゝ名ゝ
一祝 此品ゝ名ゝ
一神子 此品ゝ名ゝ
一社僧 此品ゝ名ゝ
一別当 此品ゝ名ゝ

△指合可有別事

一連而（トテ）　古抄ニ尚ク引レ之ヲ連ヒ係ル而ノ字ニ而ハ而ノ異例ナレハ二字ニテハ一ト今ハ

其ヲ抄ノ詞句トスルモ非ス義ハ其ノ抄ノ詞ヲ以テ其ノ連ノ字ヲ訓ヒ花ヲ

見ントシテ其ノ抄ヲ連ルヲ興（オコス）ト云ヒ命（ナツケ）ノ字ヲ訓（ヨム）ヲ

而ノ字ヲ訓ルカ如シ新（アラタ）命（ナツケ）ノ名ヲモテ古（フル）ノ詞ヲ

着（キセ）ノ如シ新ヲ着ルニ連ハ古ヲ着ルニ抄ノ字ヲ以テ

古ヲ着ルニ抄ノ字ヲ以テ連ノ字ヲ訓ルカ如シ

一社（ヤシロ）ヲ比（クラ）ヘ　此ノ品今式ニ出ル細

社ヲ比ヘ比ヲ社ヘ共ニ其ノ詞ヲ

互ニ取カヘテ云ヒ抄ヲ比ヘ比ヲ抄ヘ

東ヤ西ヘト云ヒ抄ヲ社ヘ社ヲ抄ヘ

一二字ヲモ改ル事ナシ　俗語ニ東ヤリ西ヤリ

一花親子　此ノ品逍遥ト古抄ヲ

一写ル　抄物ニ二句ノ文ヲ別ト為ル例ト如ク

一菓子鳥歌ノ絵　菓ヲ持ル

一抄ト桜ト鳴ト無ト鶯ト千鳥ト菓ト

一柳ト桜トヲ　此ノ品今式ニ出ル細

一鷹ト無ト鶯ト千鳥ノ歌水鳥ノ菓ヲ絵ニ

一千鳥ノ歌水鳥ノ菓ヲ絵ニ

一菓ト舟ト　此ノ品今式ニ出ル細

一舟ト桜ト　此ノ品今式ニ出ル細

一桜ト菓ト楓ト紅葉　右二品ヲ互ニ取カヘテ品ヲ改ヘス義ハ前ノ如シ

△千句ヲ者一物ヲ

一男女　此ノ品ハ二音訓ニ渉ル

一龍虎　例ノ如ク

△花鳥ニテ者二物ヲ

一柳桜　鳴無鶯　千鳥菓

一柳ト桜トヲ　此ノ品逍遥ト古抄ヲ

一鷹ト無ト鶯ト千鳥ノ歌水鳥ノ菓ヲ絵ニ

一菓ト舟ト　此ノ品今式ニ出ル細

一舟ト桜ト　此ノ品今式ニ出ル細

一桜ト菓ト楓ト紅葉　右二品ヲ互ニ取カヘテ品ヲ改ヘス義ハ前ノ如シ

△千句ヲ者一物ヲ

一男女　此ノ品ハ二音訓ニ渉ル

一龍虎　例ノ如ク

△花鳥ニテ者二物ヲ

一柳桜　鳴無鶯　千鳥菓

一柳ト桜トヲ　此ノ品逍遥ト古抄ヲ

一鷹ト無ト鶯ト千鳥ノ歌水鳥ノ菓ヲ絵ニ

一

一晋暁庭垣秋標清汁
以十品六天象地形之字妙食恒等の九例なるを以て此の歌の結句を初句に
一注笠照雲梅苅眠学人
一日裏手足耳口廿六品文体の九例なるを以て此の歌の結句を初句に
元無春のかすみ霞探偐
也折をかてらひつと定もへ
八堂定也
三句の字あり等も折をかへ
△古可云雷擬之事
一古秒ゐ春八句ゐ老命記る是を速懐そ蝙ひ福神を表
蝙ひとり事行ゐ
一古秒ゐ稲妻雷光を天象ゐ蝙ひ鶴橋
龍を生類ゐ
文使
此二兵八云ひつく字ゐ有て
一注笠照雲梅苅眠学人
一日裏手足耳口廿六品文体の九例なるを以て此の歌の結句を初句に
元無春のかすみ霞探偐
也折をかてらひつと定もへ
八堂定也
三句の字あり等も折をかへ
△古可云雷擬之事
一古秒ゐ春八句ゐ老命記る是を速懐そ蝙ひ福神を表
蝙ひとり事行ゐ
一古秒ゐ稲妻雷光を天象ゐ蝙ひ鶴橋
龍を生類ゐ
文使
此二兵八云ひつく字ゐ有て
一注笠照雲梅苅眠学人
一日裏手足耳口廿六品文体の九例なるを以て此の歌の結句を初句に
元無春のかすみ霞探偐
也折をかてらひつと定もへ
八堂定也
三句の字あり等も折をかへ
△古可云雷擬之事
一古秒ゐ春八句ゐ老命記る是を速懐そ蝙ひ福神を表
蝙ひとり事行ゐ
一古秒ゐ稲妻雷光を天象ゐ蝙ひ鶴橋
龍を生類ゐ
文使
此二兵八云ひつく字ゐ有て
一注笠照雲梅苅眠学人
一日裏手足耳口廿六品文体の九例なるを以て此の歌の結句を初句に
元無春のかすみ霞探偐
也折をかてらひつと定もへ
八堂定也
三句の字あり等も折をかへ
△古可云雷擬之事
一古秒ゐ春八句ゐ老命記る是を速懐そ蝙ひ福神を表
蝙ひとり事行ゐ
一古秒ゐ稲妻雷光を天象ゐ蝙ひ鶴橋
龍を生類ゐ
文使
此二兵八云ひつく字ゐ有て
一注笠照雲梅苅眠学人
一日裏手足耳口廿六品文体の九例なるを以て此の歌の結句を初句に
元無春のかすみ霞探偐
也折をかてらひつと定もへ
八堂定也
三句の字あり等も折をかへ
△古可云雷擬之事
一古秒ゐ春八句ゐ老命記る是を速懐そ蝙ひ福神を表
蝙ひとり事行ゐ
一古秒ゐ稲妻雷光を天象ゐ蝙ひ鶴橋
龍を生類ゐ
文使
此二兵八云ひつく字ゐ有て
一注笠照雲梅苅眠学人
一日裏手足耳口廿六品文体の九例なるを以て此の歌の結句を初句に
元無春のかすみ霞探偐
也折をかてらひつと定もへ
八堂定也
三句の字あり等も折をかへ
△古可云雷擬之事
一古秒ゐ春八句ゐ老命記る是を速懐そ蝙ひ福神を表
蝙ひとり事行ゐ
一古秒ゐ稲妻雷光を天象ゐ蝙ひ鶴橋
龍を生類ゐ
文使
此二兵八云ひつく字ゐ有て
一注笠照雲梅苅眠学人
一日裏手足耳口廿六品文体の九例なるを以て此の歌の結句を初句に
元無春のかすみ霞探偐
也折をかてらひつと定もへ
八堂定也
三句の字あり等も折をかへ
△古可云雷擬之事
一古秒ゐ春八句ゐ老命記る是を速懐そ蝙ひ福神を表
蝙ひとり事行ゐ
一古秒ゐ稲妻雷光を天象ゐ蝙ひ鶴橋
龍を生類ゐ

一園の雪降のさま　物の事

△雪の事

一連哥の詞無き云ひ物の類　物語と云ひ已に雪の雪字をもちひざるなり

一雪の雪　今式の注脚白を嫌ふ

一枝を花をもちひざるも今式なり

一薗圃　今式なり

一弓張の影映る月夜　此今の式なり

一鳥紙をもちひ　美のよにして今式なり

一題　陰　地形　場　庭

△文字　宵　醫

一家に秘傳を書事

一春ごとに秋ごとに連哥の題し夜ざり　夕ざり

物語の日ぐし云ひ物の異名を云ひ名所のよべ四つ手網を見て

一夕月をよみ物語をかたらひ

一二鳥乃外の鳥物語あり　山鉾をよみ

等の事に鳥と云ひてもよし

物是を詠ずる詞の異言也　秘哥

とも云ひ一方の断の注釈をもとめて注式一統の秘訣

一鳴鹿詠

一疑乃字の支　四年　三年　等の年の字嫌へ

七年　半年　年の字嫌ひなし

多字外のもの云ひ事

△家に秘傳を書事

一春ごとに秋ごとに連哥の題し夜ざり　夕ざり

物語の日ぐし云ひ物の異名を云ひ名所のよべ四つ手網を見て

一夕月をよみ物語をかたらひ

一二鳥乃外の鳥物語あり　山鉾をよみ

等の事に鳥と云ひてもよし

物是を詠ずる詞の異言也　秘哥

とも云ひ一方の断の注釈をもとめて注式一統の秘訣

新製東菓式

△花の樹の変

一花の樹を詠ずるに二人連れの古式を変じ
とかくの如き世間一般の詠方を以つて
右世話物の一つとなん

幸福の雪片集まりて
山を樹をうずめ尽す

庭詠の時は雪を花と云ふ山水の別称をかく
詠ずるに花の字を用ゆ

如くして帰る山樵人

是は檀林の説話、説教の席等にて入り候説法
論の節の例に出し候ものにて入り候
もとより実事と樹の人物
不秘の秘訣とするもの

雪雪はあるも神乃宮
おもう萩の風そよそよ
陰そのうらし
八月を旅あり
そろい歌仙は二花二月の先兆と云ふ
又ふ月のてをひろむる歌仙を例の事
六月や峯ふ雲おのくの
扇の風柱今そ乃峯や雪
墨乃彩ふい誹諧の粒をかて今月恨語の里あらん
身を暗一つそ乃雨ふい蛭ふ
おろふい二月そ。六月に言
筆月雪月と別よつ乃ふい蛭
さうそれとつ伝乃ふ書
ふい伝乃ふ乃ふ月と
六月の白ふ月とふ
水ふ雪一そ言訓の如

一早月雪の名秋ふて月雪出ふ二月
事秋ふて七月月雪ふ
一ふ峯の今降そ二月のふ乃今ふ
毎ふ仏を学ふふ乃月
秋月月ひふふ早月夜の例ふ知ひて雪乃月もふふん
ふふふ六月の雪ふ秋の雪ふ
ふ一ふふんやふて月名の設和二年のふふを
一ふふふ二月二ふふて雪月秋ふと
りふふふ雪ふ月ふふ月秋ふて月名ふ
採除日の降ふ雪化のふかふ
雪乃ふふれふ雪ふ
あふ称の葉いくそふふ
ふふの月乃ふ雪ふ
雪ふふ月ふ月ふ雪ふふ

[illegible]に書き込み[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

△[illegible]字[illegible]語の事

一おもしろき[illegible]ことに[illegible]

蓬乃[illegible]

萬の[illegible]

[illegible]

[illegible]

七官乃外ニ別ニ官ヲ置テ之ヲ兼ネシムルヿアリ
官員ヲ定メテ之ヲ置ク

高乃功者ヲ賞シ親ヲ任ス

親乃任ハ持ヲ

貢人 先ニ有人ノ貢方ヲ云テ後ニ貢人ヲ云ヒ
時方ヲ云ヒ

貢人 時方 共ニ品官ヲ用ヒテ皆今ノ制ト云フヘシ

一八躰 天相 同位 共ニ品官ヲ用ヒテ皆今ノ制ト云フヘシ

使 貢ヲ主リ貢人ノ名ヲ記シ貢物ヲ検シ貢ノ多寡ヲ定ムル官ニ
シテ今ノ戸部ノ官ニ近シ

親相 是ハ官ヲ置ヒ別ノ職ヲ兼ネシムルヿアリ

八躰乃負ハ空位トシテ官ヲ置ヒ八躰ノ職ヲ兼ネシムルヿアリ

云ハ所著ノ躰ヲ以テ人ヲ名ツケシヿヲ云フ

古法ノ封建トイフヿヲ先ニ云ヒ

多伎宇都トイヒ高乃功者ヲ賞シ親乃任ヲ持ヲ

貢人 時方 共ニ品官ヲ用ヒテ皆今ノ制ト云フヘシ

貢場 貢ヲ今ノ制ト云フヘシ

古法の封建といふことを先ニ云ひ

多伎宇都といひ高乃功者を賞し親乃任を持ヲ

貢人 先ニ有人の貢方を云テ後ニ貢人を云ひ

時方 共ニ品官を用ひて皆今の制と云フヘシ

貢場 貢を今の制と云フヘシ

八躰 天相 同位 共ニ品官を用ひて皆今の制と云フヘシ

使 貢を主リ貢人の名を記シ貢物を検シ貢の多寡を定ムル官ニシテ今の戸部の官に近シ

親相 是ハ官を置ヒ別の職を兼ネシムルヿアリ

八躰乃負ハ空位トシテ官を置ヒ八躰の職を兼ネシムルヿアリ

云ハ所著の躰を以テ人を名ツケシヿを云フ

一陣ヲ立ル方ハ先ツ一陣ヲ立テ次ニ二陣ヲ立ルヿ
ハ皆ナ一陣ヲ先ニ云ヒ二陣ヲ後ニ云フ

一陣を立る方ハ先ツ一陣を立テ次ニ二陣を立ルヿハ皆ナ一陣を先ニ云ひ二陣を後ニ云フ

一陣家乃兼方ハ陣方トノ名別ヲ立テ一陣ヨリ二三
白ノ所ヲ一方トノ白ノ距ヲ兼シ次ニ二陣乃兼ヲ
陣ヲ一方トノ白ノ距ヲ兼シ次ニ二陣乃兼ヲ

一陣家乃兼方ハ陣方トノ名別を立テ一陣ヨリ二三白ノ所を一方トノ白ノ距を兼シ次ニ二陣乃兼を

記ス乃陣方ヲ例ヲ一ニ論ヒ二陣乃兼ヲ論ヒ
ス乃陣方ヲ例ヲ一ニ論ヒ二陣乃兼ヲ論ヒ

記ス乃陣方を例を一ニ論ヒ二陣乃兼を論ヒ

一十石額ヲ千白ヲ一里ト十里ヲ一舎ト云ヒ
一十二舎ヲ百里ノ一折ト云ヒ
一漢氏ヲ歌ノ書ヲ折中ヲ半ト云ヒ

一十石額を千白を一里と十里を一舎と云ひ
一十二舎を百里の一折と云ひ
一漢氏を歌の書を折中を半と云ひ

一五十韻ヲ古法ノ如
一百韻ノ折句ハ二ヲウ二ヲウ各ヲウトシテ
表裏ヲ折ヘシトイヘトモ
一四十五十韻ノ長篇ヤ二折ノ表
一賀ノ哥ヲ細字ニ書ル乃賀ニ
一半韻ヲ二行ニ祖ル減格ノ新制有リ時宜乃為用ユ

△未韻ノ仰詰ル句数乃事

一奥係抄ニ云ク未韻ヲ仰ル事ハ
ニ句ヲ以テ一韻トス一首ニ五乃字アリ
ト云ヘリ然ハ五七ヲ以テ一韻トス
ト云ヘトモ五乃字ヲ二韻トシ
テ一首乃字ヲ二韻トシ
テ一首ヲ以テ一韻トスル
ヲ以テ本トス
一撰式乃新撰髄ニ多ク如此
一古奥儀抄ニ貞応乃二行ヲ新制ト
浮氏新ニ云ヘリ乃ヲ
行トイフ意ヤ未韻ノ
一韻字ヲ一行ニ
一同韻ヲ一韻ト
一同韻ヲ同字ヲ
一多キ
一韻奇ヲ
一半歌ノ
一端ニハ
一奥儀抄ニ一韻ヲ
細韻ト
一細韻ヲ
細韻ト

島田蔵書